

令和 5 年 2 月 28 日
株式会社 清水銀行

東伸紙工株式会社 との 「しみずポジティブ・インパクト・ファイナンス」契約締結について

清水銀行（頭取 岩山 靖宏）は、お客様の SDG s の達成をご支援するため、各種サステナブルファイナンスの提供に努めており、その一環としてこのたび、東伸紙工株式会社（代表取締役 久保田 基之）と「しみずポジティブ・インパクト・ファイナンス」契約を締結いたしました。

本件の取組みにあたっては、関連会社の株式会社清水地域経済研究センター（代表取締役 田中 昌一）がインパクト分析・特定のうえ評価書を作成し、株式会社日本格付研究所（代表取締役社長 高木 祥吉）がポジティブ・インパクト金融原則との適合性を確認しました。

清水銀行では、2021 年 12 月に「環境方針」「責任ある投融資方針」からなる「清水銀行サステナビリティ方針」を策定し、持続可能な社会の実現や社会的課題の解決に向けた取り組みを加速させてまいりました。今後も社会・環境問題の解決に資する取り組みを一層推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

1. 契約概要

契約日 : 令和 5 年 2 月 28 日（火）
融資金額 : 1 億 5000 万円
資金使途 : 運転資金

2. 借入人概要


企業名 : 東伸紙工株式会社
所在地 : 静岡県富士市原田 359 番地の 1
事業内容 : 印刷事業




3. 借入人の主な取組み（詳細は「ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書」をご参照ください）

（1）特定されたインパクト

ポジティブなインパクトの成果が期待できる事項	<ul style="list-style-type: none"> 従業員に対する SDG s 勉強会実施 富士市内全中学校に対する SDG s 講話の実施 女性管理者の登用、高齢者従業員の雇用
ネガティブなインパクトの低減が必要となる事項	<ul style="list-style-type: none"> ストレスチェックの実施 人間ドックの導入 有給休暇の取得促進 紙製クリアファイルの取扱量の増加 HV・EV の導入

（2）測定する KPI

社会面	<ul style="list-style-type: none"> 2028 年までに従業員に対し毎月 SDG s 勉強会を開催し、全従業員が SDG s を理解し、講話ができる能力を保持する 2033 年までに富士市内中学校全 16 校で SDG s 講話を実施する 2030 年までに女性管理者を 1 名以上、高齢者従業員を 4 名以上とする 2028 年までに全従業員に対しストレスチェックを実施する 2033 年までに 50 歳以上の従業員に対し人間ドックを実施する 2033 年までに有給休暇取得日数を年間 10 日以上とする 	
-----	---	---

環境面	<ul style="list-style-type: none"> ・2033年までに紙製クリアファイルの年間取扱量を60t以上とし、プラスチック製クリアファイルに代替することで、CO2排出量及びプラスチック類廃棄物の削減と紙の再資源化を目指す ・2033年までに全ての社用車をHV・EVとする 	 
経済面	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年までに女性管理者を1名以上、高齢者従業員を4名以上とする 	

以上

<ニュースリリースに関するお問い合わせ> 清水銀行 支店営業部 白井 054-366-9990

